

# 研究室から

Genter, 19  
97, 2003)。  
日本語と英語が持つ異なる性質がこのような現象を生むという報告でした。

からです。結果、日本「え方を支配する」といふ強烈な仮説（サビアも異なるバイリンガルウォーフ仮説）が提唱されています。日本語特有の傾向があることが分かりました。当初で話す人は、日本語が英語が上手なら考え方表現しうる内容でしか

しかし同じ日本人でも英語力が高くなると物の選び方が変わつてくるのですから、英語という言語が持つ性質が加わり何らかの変化をもたらすことが推察されます。現在このよ

「言語と脳」を科学的に解明

私は日本人で英語を



私は第一言語習得による認知変化を調査しています。日本語話者と英語話者では物の選び方が異なることを発表した先行研究があります (Imai &

私は日本人で英語を習得したバイリンガル話者にこの実験を実施しました。相反する物の選び方をする二つの言語を習得すると、どちらの言語に影響を受けるのか興味があつた

も英語話者に近づくの  
ではないか、という仮  
説を立てていたので大  
きなまざまな批判を受  
け、強い主張から弱い  
主張へ形を変えて行き  
ました。

科学的研究機構生理学研究所との共同研究で fMRI(磁気共鳴画像)を使い、普段私達が何気なく使っている言語を科学的に解明しようと努力しています。